

小論文作成上の留意点

■小論文の審査方法

【書類審査】①現状の把握・分析の的確性、②論旨および提言の論理性・説得性、③着眼点や提言の独創性・実効性、といった諸点に照らして、決勝進出チームを厳正に選定します。

——独自の現場調査や分析の有無も重要なポイントとなります。

【決勝審査】書類審査のポイントに加え、④プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

■小論文作成上の留意点

上述の審査方法を踏まえ、小論文を作成するうえでは以下の点にご留意ください。

（１）提言に十分な分量を割いてください。

——限られた紙幅を有効に活かすため、問題意識や背景についての内容は簡潔にとどめ、提言の説明に注力してください。

——また、「言いたいこと」を伝える短い文章と説明のための長めの文章を組み合わせるといった工夫を行うなど、分かりやすい文章作成を心掛けると説得力が増します。

——グループ以外の方にも説明し、説得的かどうか意見を聞くのも一つの方法です。

（２）正しい現状把握に基づいた提言としてください。

——提言を行おうとするテーマについて十分な調査を行ってください。これを怠ると、見当違いの提言や陳腐化した提言になってしまう可能性があります。

——日本銀行の政策や業務をテーマとする場合には、日本銀行ホームページに掲載されている最新かつ詳細な情報を十分に活用してください。

（３）提言内容を具体的に示してください。

——抽象的な内容では、提言の実効性や独創性について評価することが難しくなります。

——過去の入賞作品では、新たなビジネスモデルに基づいた具体的な金融取引スキームの活用方法やITを利用した新しい金融サービスにおいて想定するWebサイトのデザインを例示していることが評価された例があります。

（４）提言の利点や効果だけではなく、実現上の課題やコスト・副作用も具体的に検討してください。

——課題の解決方法、コストの見極め（将来的な国民負担等も含む）、副作用の軽減などについても極力小論文に盛り込むことで、実現性に配慮した内容となるように工夫してください。

（５）独自の現場調査や分析を行う余地がないか検討してください。

——これにより、客観性が高まり、提言がより説得的なものとなります。

——過去の入賞作品では独自のアンケート調査や関係者への聞き取り調査を踏まえた提言内容になっていることが評価ポイントとなった例があります。

——調査・分析においては、偏りのない、客観的な内容となるように心がけてください。

■その他の留意点

（１）応募は未発表のものに限ります。また、二重投稿はご遠慮ください。

（２）他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。